投稿規定

1. 本誌は哺乳動物卵子の形成，受精，胚発生，着床，妊娠および遺伝に関する研究，さらに生殖補助医療技術の分野に関する投稿を受け付ける和文誌である．採用論文は日本卵子学会誌に掲載される．投稿論文は，未発表の原著，短報，総説，レター，その他（論説，資料，文献紹介など）とし，著者は本会の会員に限る．
2. 投稿論文は編集委員会で審査し，掲載が決定したものについては受付順に掲載する．審査員からのコメントは 4 週間以内に著者に送られる．受領は論文の科学的重要度，オリジナル度に重点がおかれ決定される．
3. ヒトを対象とした研究は，ヘルシンキ人権宣言に基づき，臨床研究および疫学研究に関する倫理指針に準拠し，さらにヒトゲノム・遺伝子を対象とした研究は，ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針に準拠するものとする．また，個人情報保護法や関連の指針に準拠するものとする．さらに，文部科学省・厚生労働省の「ヒト受精胚の作成を行う生殖補助医療研究に関する倫理指針」にも準拠し，これに関わる研究は，文部科学省および日本産婦人科学会に適切な届け出をしたものを，掲載の対象とする．
   上記に関わる研究は，所属機関・施設の倫理委員会等の承認を得て，その旨を本文中に記載する必要がある．動物を用いた研究は，動物の愛護及び管理に関する法律に基づき，実験動物の飼養および保管ならびに苦痛の軽減に関する基準，研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針等に準拠し，所属機関・施設の倫理委員会等の承認を得たもののみを掲載可とする．なお，投稿の際には，利益相反に関する学会所定の申告用紙に必要事項を記入し，投稿時に提出する．
4. 論文は，次の規定に従って投稿する．
   1）投稿は JSOR の web サイトから電子投稿システムを用いて行う．投稿論文を MS word によるファイル（表を含む）および図を JPEG ファイルにより upload する（すべてのファイル名は半角英数字のみ使用可）．
   送付するファイルは以下のように構成する．
   例）著者；佐藤の場合，以下のように構成する．
   Satotext.doc----- カバーレター，タイトルページ，要旨，対象と方法，結果，考察，文献，表，図の説明，英文の Abstract
   図は，satofig1.jpg ---------図 1
   satofig2.jpg ---------図 2
   表は，satotable1.doc------表 1（表を本文ファイルに同梱できない場合）
   2）原著は刷り上り 6 ページ以内，総説は同じく 8 ページ以内，短報は同じく 3 ページ以内を基本とする．
   3）レター：培養室業務に携わる研究者や胚培養士に関連するテーマを扱う．具体的にはハード面での工夫（施設，実験室，機器の管理マニュアル），技術的な工夫（体外受精の実際とコツ，顕微授精の実際とコツ，精子や卵の取り扱いマニュアル，胚の質の評価法の紹介，ART 実施方法の紹介など），胚培養士の現状と問題などをテーマとする．刷り上り 1 ～ 2 ページ（1 ページ 2,500 文字，タイトル部分，表，写真を含む），項目を分ける必要はないが，著者の判断により小見出しを付けてもよい．要約は不要．
   4）様式：ページサイズは A4 版あるいは standard U.S. letter paper で 2.5cm の余白を空け，左詰めでダブルスペース．下端にページ数を，各行左に行数を記載する．
   5）セクション：タイトルページ，要旨，対象と方法，結果，考察，文献，表，図の説明，英文の Abstract の順に記載する．症例報告の場合には対象と方法，結果の代わりに症例報告と記載する．総説では，要旨，（はじめに），結論を記載する．Key word は 5 語までとする．
   （1） タイトルページ：論文タイトル，著者名，共著者名，所在住所，e-mail アドレスを記載する．
   （2） 要旨：400 字以内（日本語）．
   （3） （はじめに）
   （4） 対象と方法：外国研究者および所在地は略語を使用し，アラビア文字と SI units で記載する．汎用される略語は解説なしに記載する．
   （5） 結果
   （6） 考察
   （7） 謝辞
   （8） 文献：引用文献は本文に引用された順に記載し，以下の例に従う．
   ①雑誌の場合
   1) Bavister, B. and Yanagimachi, R. (1982): The effect of sperm extract and energy sources on the motility and acrosome reaction of hamster spermatozoa in vitro. Biol. Reprod., 16, 228-231.
   2) 梶原　豊・米谷尚子・小林里美・下中裕二・後藤和文（1991）：卵丘細胞 - 子宮内膜上皮細胞との共培養により得られた体外受精由来胚盤胞期胚の移植成績．家畜繁殖学雑誌，37 (3): 177-184.
   ②単行本の場合
   1) Yanagimachi, R. (1981): Mechanisms of fertilization in mammals. In:Fertilization and Embryonic Development In Vitro (Mastroianni, L. Jr. and Biggers, J.D., eds.), pp. 81–90, Plenum Press, New York.
   2) 鈴木達行（1990）：受精卵の凍結保存・融解，家畜の繁殖と育種（鈴木達行編），pp. 85–94，農業図書株式会社，東京．
   省略せずすべての著者を記載する．
   （9） 表：稿末に一括してまとめ，符号を記入し，かつ本文中に挿入すべき位置を表 1，2 のように明示する．また，ページ右余白にも明示し，注釈を記載する．
   （10） 図：図は JPEG ファイルで作成する．図 1，2 のように符号を付け，本文中に明示する．サイズは編集委員会に一任とする．
   （11） 図の説明
   （12） 英文要約：200 words 以内．論文タイトル，全著者名，所属，住所も記載する．
5. 改訂論文は初回投稿時と同様に電子投稿システムから送る．審査員のコメントに対する返答を項目ごとに MS word を用いて作成し，ファイルとして一緒に送る．
6. 掲載決定後，別刷の申し込みが著者に送付される．また，掲載に関わる英文校閲については別途請求となる．また，掲載決定後，著作権譲渡同意書（web site からダウンロードする）を作成し，（株）アイペックへ直接郵送しなければならない．

著作権譲渡同意書の送付先
〒 170-0002　豊島区巣鴨 1-24-12
（株）アイペック内　JMOR 編集部
TEL: 03-5978-4067　FAX: 03-5978-4068

Presented by Medical*Online

Journal of Mammalian Ova Research：利益相反の自己申告書

Journal of Mammalian Ova Research
編集委員長　殿

申告者名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印　記載日：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

論文題名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

投稿時から**遡って過去 3 年間以内**における**投稿内容に関連して，所属先以外の**企業・組織または団体からの報酬を得ている場合などの利益相反状態の有無を申告します。

項　目	該当の状況 （総額ではなく著者毎とする）	有の場合は、企業名などの記載
① 所属先以外からの報酬額 （役員報酬，講演料，原稿料も含む） 1 つの企業・団体から年間 100 万円以上	有 ・ 無	
② 株式あるいは特許の利益 1 つの企業から年間 100 万円以上，あるいは当該株式の 5%以上の保有	有 ・ 無	
③ 研究費・助成金などの総額 1 つの企業・団体（公的団体も含む）からの研究経費（受託研究費、奨学寄付金、委任経理金等）の総額がそれぞれ年間 200 万円以上	有 ・ 無	
④ 企業などが提供する寄付講座 企業などからの寄付講座に所属している場合に記載	有 ・ 無	
⑤ 贈答品などの受領 1 つの企業・団体から年間 5 万円以上	有 ・ 無	

（本自己申告書は論文掲載後 2 年間保管される。）

Presented by Medical*Online